

令和8年度入学 一般選抜前期日程

論説 講評

記念日を題材にした問題である。資料として、国民の祝日である「山の日」に関する文章、「母の日」に関するデータ及びその起源に関する文章を提示した。これらの資料に示されている情報や事象を読み取り、簡潔かつ的確に文章化する力、一定の条件下で課題解決への道筋を考察し、論述する力をみることを主な目的とした。

問1

【出題のねらい】

「山の日」制定の歴史に関する資料から、「山の日」を制定する意義と啓発活動の内容について読み取る問題である。情報を的確に把握する力、把握した事柄を簡潔に記述する力を評価した。

【講評】

解答状況はあまり良好ではなかった。「山の日」を制定する意義に関しては資料にまとめて記載されていたが、求められている要素の一部に関する記述に留まり、説明が不足している解答が散見された。啓発活動の内容に関しても、一部しか抽出できていない解答が目立った。問われている内容を理解した上で、資料の全体から読み取るべき点に過不足がないか丁寧に検討する力が必要であった。

問2

【出題のねらい】

母の日に関するアンケート調査の結果についての図表資料と、母の日の起源に関する文章資料から、必要な事象や情報を抽出し、それらを関連付けて分析する力をみる問題である。

【講評】

解答状況はあまり良好ではなかった。文章資料からの情報抽出はできても、図表と関連させて読み取るべき数値を的確に抽出できている受験者は多くなかった。また、複数の資料の関連性を正確に読み取り、要点を押さえた記述に至った受験者は極めて少なかった。文章資料で示した母の日の誕生した時代の概要と、図表で示したアンケート調査結果との比較、及びそれぞれの時代の母の日における贈り手と受け手の考え方の比較など、様々な角度から事象を分析する力が必要であった。

問3

【出題のねらい】

新たな記念日を自分で考え提案するという問題である。与えられた複数の条件を踏まえながら、自分で課題を見出し、解決への道筋を考察し、論理的に説明する力をみた。

【講評】

解答状況はまずまずであった。この問いでは、与えられた条件を踏まえた上で提案することを求めたが、条件をすべて満たしている解答は多くはなかった。記念日の名称、目的、意義は書けている受験者が多かったが、目的と意義の意味を正確に理解していない解答も散見された。この問いでの条件の一つに、受験者が考えた記念日をどうやって社会に認知させるのかを明確に記載することを挙げていたが、普及啓発の方法ではなく、自分が考えた記念日に何をするかという内容を記載している受験者が多かった。問いで何を求められているのかを正しく理解してから、記述する内容の構想を行う力が必要であった。また、問3は独立しているわけではなく、問1、問2で扱った資料1～資料3をふまえることにより、問3の課題解決の視点へとつながっている。複数の資料で与えられる視点を持ちながら、課題解決への構想を行う力を身に付けてほしい。